



# ザンビア人の飲み水



汚染された水

5才以下のげり患者が多い！  
死亡する場合もある。

水をふっとうさせるだけで  
殺菌できる！

## 青年海外協力隊 (JICA)



孔信一郎さん  
青年海外協力隊員

電気やガスはない！  
→カマドを作ろう



作り方を説明。  
一方的に教えない。  
実際に使ってもらい、  
良さをわかってもらう。





中田北斗さん  
北海道大学大学院  
研究員

ザンビアでは鉱山の採掘が盛んです。しかし、有害な鉛が空気中や食べ物を通して体内に入ってしまう。そのため、北海道大学とザンビア大学は協力し合って、共に感染症や環境問題に取り組んでいます。

私は、データを示して、健康被害が減るように取り組んでいます。例えば、鉛を空気中から吸い込まないように、を呼び掛けています。

その時に、私の考えを一方向的に押し付けるのではなく、ザンビア人の意見を尊重し、お手伝いをするという気持ちで支援をしています。

国際協力という仕事なくなるのが、私の最終目的です。世界中の人々が、自立して生活できるようにすることが大切です。ザンビア大学と協力して進めているのは、私がザンビアからいなくなっても、ザンビア人が自分達で健康被害を減らせるようにしなくてははいけない。

# 日立建機ザンビア

銅をほるための大型機械の部品の修理や点検を行う工場



渋谷 直道さん  
日立建機

日本の会社ですが、なんと日本人従業員はたったの3人です。理由は2つあります。

- ①現地の人に働き口を提供するため
- ②日本人が教えた技術を一人でも多くのザンビア人が生かし、現地の人々が自立して仕事ができるようにするためです。

最初は、何か問題が発生すると、ザンビア人はすぐに日本人を頼っていました。しかし、教える前に、自分でどうしたらよいか考え、チームで相談するようにアドバイスしました。次第に、自信をもち、自分たちで進んで問題解決をしようという雰囲気になりました。

日本の企業の技術力を生かして、ザンビアの経済発展に少しでもこうけんできたらいいです。



## 「工具箱の設置方法のカイゼン」

使用する工具は非常に大きく、また、工具が置いてある場所から作業場までが離れている。工具の取りかえに時間がかかっていた。この装置の開発によって、作業時間を大幅に減らすことができました。

■時間 作業時間の変化

